

2022年
10月26日-10月28日

厚生常任 委員会

道外視察研修報告書

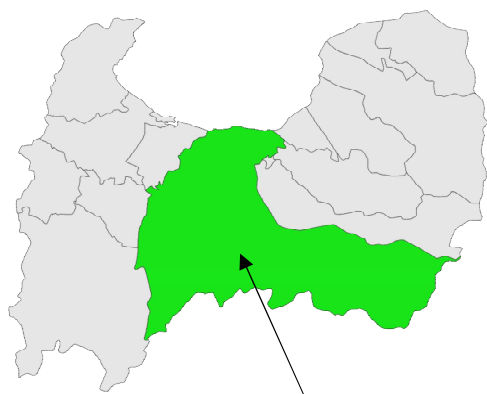
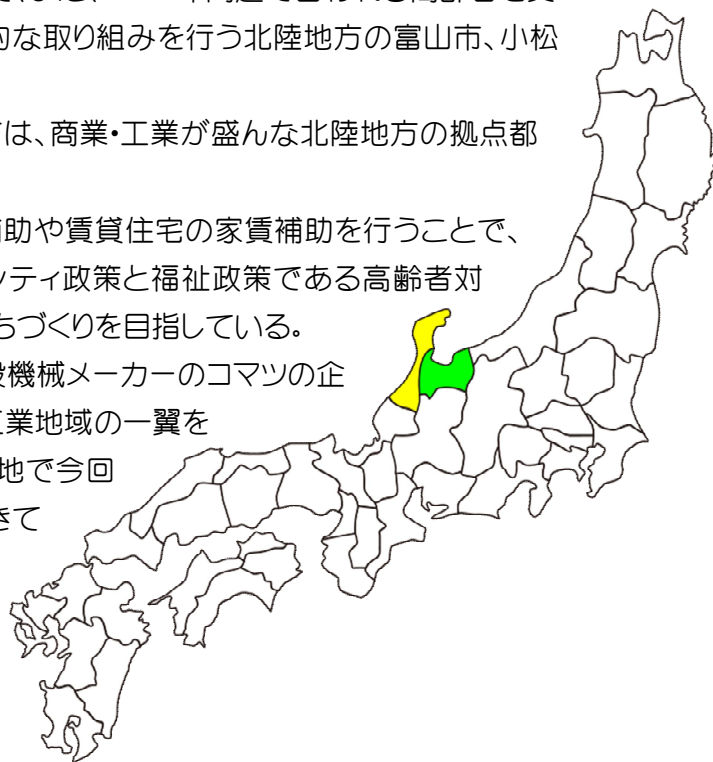
厚生常任委員会視察報告書

2022年10月26日、委員7名(2名欠席)で滝川市を出発し3日間の行程で行った。今回の視察は、本市の10年先を見据えた新総合計画の策定及び市内に点在する公共施設の改廃、統廃合などを計画的に進める公共施設個別施設計画策定の参考として、また、2050年問題で言われる高齢者を支える介護の働き手不足解消の参考とすべく、先駆的な取り組みを行う北陸地方の富山市、小松市を訪れた。

富山県の県庁所在地で最大の都市である富山市は、商業・工業が盛んな北陸地方の拠点都市である。

特にまちなか居住推進事業への住宅取得費用補助や賃貸住宅の家賃補助を行うことで、中心部への人口回帰を促す、いわゆるコンパクトシティ政策と福祉政策である高齢者対策、子育て対策が連携した充実した暮らしやすいまちづくりを目指している。

小松市は、金沢市に次ぐ石川県第二の都市で建設機械メーカーのコマツの企業城下町である。その関連企業や工場も多く北陸工業地域の一翼を担っている。また、歌舞伎の勸進帳の舞台となった地で今回の視察で訪れたカブッキーランドの名は、ここからきている。



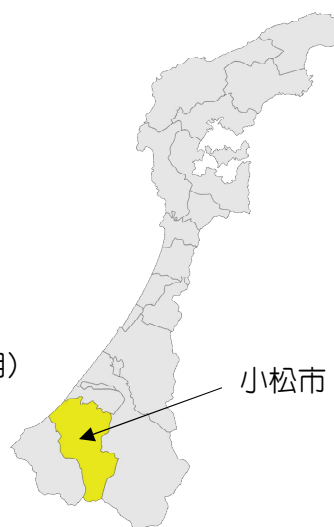
富山市

富山県富山市基本情報

人口 410,214 (182,725 世帯) ※R4年3月末日現在
市長 藤井 裕久(ふじい ひろひさ) R3年4月～
※H23年から富山県議会議員(3期)
議長 鋪田 博紀(しきだ ひろのり) / 58歳(5期目)
議員数 38名(R4年7月現在、2名欠員)

石川県小松市基本情報

人口 106,575 (44,767 世帯) ※R4年6月1日現在
市長 宮橋 勝栄(みやはし しょうえい) R3年4月～
※H23年から小松市議会議員(2期)
議長 吉本 慎太郎(よしもと しんたろう) / 55歳(4期目)
議員数 22名



小松市

○厚生常任委員会道外視察参加者名簿(2名欠席)

委員長	三上 裕 久	公 明 党
委 員	木 下 八重子	会派みどり
委 員	山 口 清 悦	会派みどり
委 員	安 樂 良 幸	新 政 会
委 員	田 村 勇	新 政 会
委 員	水 口 典 一	会 派 清 新
委 員	東 元 勝 己	会 派 清 新
随 行(議会事務局)	山 本 亜希子	

○日程

別紙 参照

○視察先概要および委員所感

10月26日(水) 総曲輪(そうがわ)レガートスクエア 14時～16時

【受入対応者】

- ・まちづくりスポット(まちスポとやま) コーディネーター 中川 翔平氏
- ・富山市まちなか総合ケアセンター 参事・所長 山田 弘美氏
- ・富山市企画管理部企画調整課 課長代理 有馬 俊輔氏

富山市の中心部に位置する総曲輪レガートスクエアは、廃校になった小学校を活用し乳幼児から高齢者まで地域の人々が安心して利用できる複合施設である。富山市では、コンセプトとして中心部への人口回帰に伴い市民の暮らしの質を高めるため学校跡地に PPP(官民連携)による「医療・福祉・健康」の交流施設として 2017年4月1日にオープンした。



滝川市においても今後、人口減少による学校の統廃合、跡地の利活用が課題となるが、PPPによる財政負担の軽減、建設では DB(デザインビルト)方式を採用し民間の力を活かすなど富山市の取り組みが参考になる。ここで注目されるのが「産後ケア



応援室」「病児保育室」の取り組みが挙げられる。産後ケア応援室は、出産後の急激な体調の変化がある中で慣れない育児に奮闘中のお母さんに寄り添いながら専門家がサポートする宿泊利用できる施設でフィンランドのネウボラ(出産・育児支援施設)を参考としたと感じた。また、病児保育室には、本市にもある施設であるが、サービスが充実している。そのサービスがお迎え型というもので、保育所などで子どもの

体調が悪くなった時、仕事の都合などで急な迎えに対応できない保護者に代わって看護師と保育士

がタクシーで迎えに行き、同施設内にある病児保育室でケアするというサービスである。

これらを参考に本市においても妊娠から出産、産後ケアなどを切れ目なく支援する子育て世代包括支援センターを拠点とする体制づくりを求めている。

総曲輪レガートスクエアの全体図

- ・まちスポとやま
- ・富山市まちなか総合ケアセンター
- ・青池学園(理学療法士科、作業療法士科、調理製菓専門学校 生徒数:520人)
- ・富山市医師会看護専門学校(看護学科、准看護学科 生徒数:360人)
- ・ローソン…調剤薬局の機能も備えているコンビニエンスストア
- ・D-Parking(立体駐車場)…320台収容可能
- ・グンゼスポーツ…会員数2,000人のスポーツクラブ
- ・体育館…解体した小学校にあった体育館。日中は青池学園や看護学校の生徒が授業で使用する。

【講義内容】

① 総曲輪レガートスクエアとは

- ・「医療・健康・福祉」をテーマに官民連携の相乗効果で、市民への高いQOLの提供を行う。
- ・富山市が掲げるコンパクトシティ政策の一環として中心市街地の廃校を活用。
- ・コンセプト
 - ・多くの人が集いにぎわい創出の拠点機能。
 - ・多世代が交流する機会や健康的な生活を楽しむ場。
 - ・ここで出会うことで人と人がつながりの強化とコミュニティの形成の拠点。
- ・運営は施設所有者(富山市、青池学園、富山市医師会看護学校、大和リース)から成る協議会形式
- ・エリア内の行政・各法人・団体が連携して事業を行うことで、総曲輪レガートスクエアの健全な発展と地域の活性化に寄与することを目的としている。

② 総曲輪レガートスクエア設立の背景

- ・中心市街地の小学校における児童数が昭和57年から平成19年の間に50%減少。
- ・7校あった小学校を2校に統合するため、H21年に「統合小学校跡地活用基本計画」を策定し、市民や中心市街地の事業者を対象としたニーズ調査を実施。
- ・庁舎内に「地域包括ケア拠点施設設置準備室」を設置。
- ・H29年4月から総曲輪レガートスクエアとして運用開始。

③ 総曲輪レガートスクエア建設に向けての考え方

- ・「まちづくり」という観点から将来的にも富山市がコントロールできるように民間事業者への売却は行わない。代わりに、30年間の事業用定期借地権を設定し有償貸付。
- ・「中心市街地活性化基本計画」の主要方針である「質の高いライフスタイルの実現」を目的とし、日常生活に必要な機能や子育て・教育・医療・福祉等に関する機能を集積したエリアとして整備。
- ・「富山市まちなか総合ケアセンター」は市が整備し、この施設と相乗効果が期待できる施設を民間事業者による自由提案で公募。
- ・整備方式については、DB(デザインビルド方式)を採用
 - ※DB方式…民間事業者が設計・施工業務を一括して発注。施行会社は整備の設計・施工を行い、完成後、自治体に施設を引き渡す。設計・施工に要する期間の短縮が図られる。資金調達は自治体で行うため、補助金・起債の活用が可能。

- ・ 事業者:大和リースグループ
- ・ 公共部分(財産取得)
まちなか総合ケアセンターの建設、周辺道路拡幅工事
- ・ 民間部分
健康・まちなか賑わいをテーマとし、自由提案
- ・ 富山市医師会に対し、事業用定期借地権(30年間)設定により私有地を貸付(2,238㎡ 2,514千円/年)。
- ・ 土地は事業用定期借地権(30年間)を設定し、貸付(5,564㎡ 11,779千円/年)。

④ 事業費

- ・ 公共施設(地域包括ケア拠点施設)部分

	事業費	内容
コンサルタント関連	58,200 千円	基本計画策定等支援 24,600 千円 アドバイザー(計画策定～事業者募集)13,300 千円 モニタリング(事業者決定～完成)20,300 千円
解体関連	100,400 千円	
埋蔵文化財調査関連	319,900 千円	埋蔵文化財 試堀・調査・整理 ※昔の富山城の敷地内だったため埋蔵文化財の調査が必要となった。
財産取得	1,149,120 千円	
計	1,627,620 千円	

- ・ 官民連携部分

青池学園、グンゼスポーツクラブ、広貴堂、立体駐車場の整備で合計 3,350,000 千円。
看護専門学校(PPP の枠外)880,200 千円。

⑤ 公共施設の概要

【富山市まちなか総合ケアセンター】

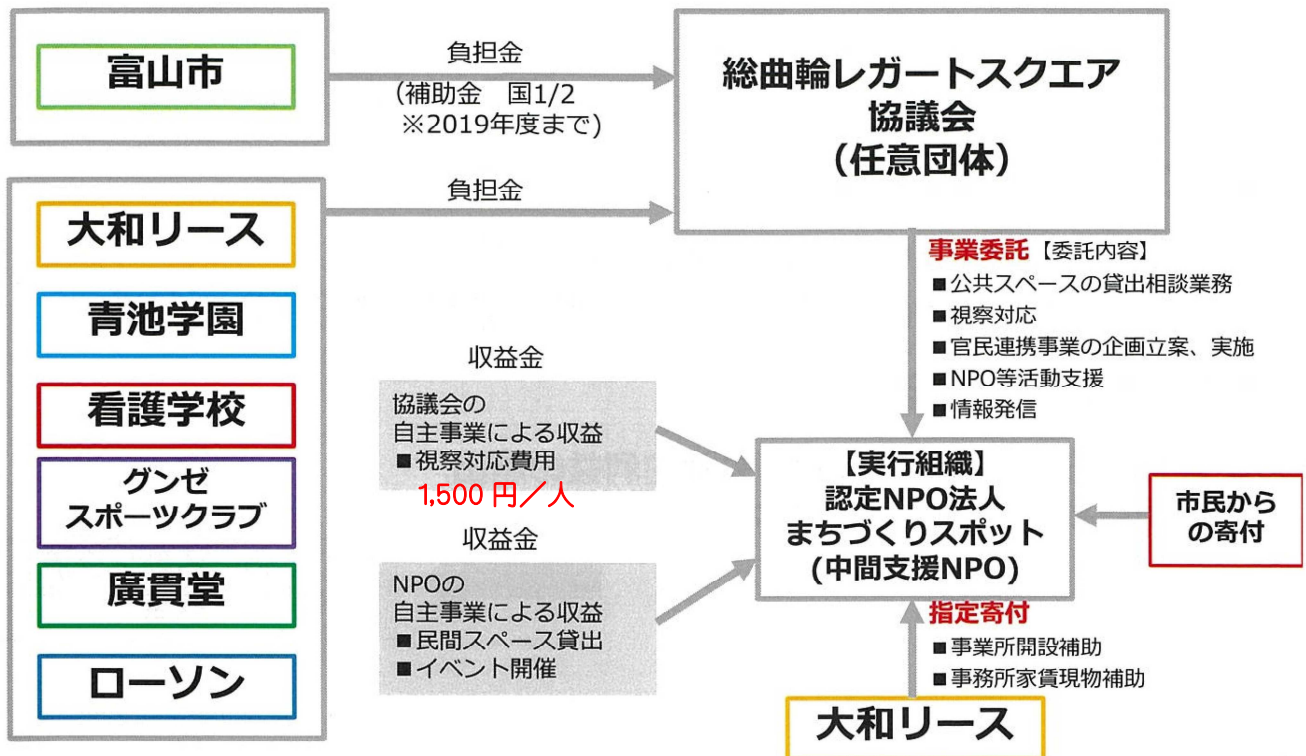
- ・ 整備手法:PPP 方式
- ・ 売買契約額:1,149,120 千円

1階	<p>こども発達支援室 心や身体に発達の遅れが心配される子どもに対し、早期からの相談及び訓練などの支援を行い、障害児とその保護者への切れ目ない支援を推進する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 児童発達支援。 ・ 乳幼児の発達支援相談。
	<p>まちなかサロン</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 多世代にわたる市民が参加できるイベントを主催する団体に貸し出し。 ・ 毎週金曜日に、市主催のまちなか保健室を実施(市民の健康づくりや疾病・介護予防等、気軽に相談できる場の提供。 ・ 総曲輪レガートスクエア内の企業や行政、地域住民が交流できる官民連携事業の実施。

2階	まちなか診療所 <ul style="list-style-type: none"> ・市直営の在宅診療のみを行う診療所(外来診療は行わない)。 ・24時間365日往診対応。 ・常勤医師3名(富山大学医学部と連携)、常勤看護師3名、社会福祉士1名。
	医療・介護連携室 <ul style="list-style-type: none"> ・医療や介護の連携のための事業を実施。
	病児保育室 子どもが体調を崩し、保護者が仕事の都合等で家庭保育ができない場合、保護者に代わって保育看護を行う。 保育所などで体調を崩した場合は保育所から医療機関を受診し、病児保育室までの送迎(隣接する1市2町1村)も行っており、タクシー代の3/4が利用者が居住する自治体から補助される。 利用料は2,000円/日 保育時間は、7時30分～19時00分 <ul style="list-style-type: none"> ・病児保育事業。 ・お迎え型病児保育事業。
3階	産後ケア応援室 育児に不安がある、心身の休養が必要、家族から家事・育児支援が受けられない方で、富山市(里帰りも含む)及び隣接する1市2町1村に住所を有する親子が対象。 例)1泊3食、おやつ付きで12,000円(利用者負担額は7,200円。残りは居住する市町村が補助) <ul style="list-style-type: none"> ・概ね産後4か月までの母子を対象にデイケア、宿泊、教室にて産後ケアを提供。

※そのほか、通路や中庭を利用して、芸術系の専門学校に通う学生の作品展示、地元農産物やハンドクラフトなどの展示即売会を行い、多世代の市民が集まる機会を多く設けている。

⑥ 官民連携のための協議会の組成



出典:まちスポとやま視察資料

○10月27日(木)富山県総合福祉会館(サンシップとやま) 9時15分～10時45分

【受入対応者】

- ・ 社会福祉法人 富山県社会福祉協議会 事務局長 芝 雅棋氏
- ・ 社会福祉法人 富山県社会福祉協議会 事務局次長 関口 正氏
- ・ 社会福祉法人 富山県社会福祉協議会 総務企画課 主事 中川 大輔氏

富山県総合福祉会館サンシップとやまは、1999年竣工、「福祉人材育成の拠点」「参加型福祉活動の拠点」「福祉情報発信の拠点」の三つの機能を併設する施設である。300席の可動式ホール、福祉図書館、福祉総合相談センターなどあり、誰もが心身ともに健康で不安のない生活を送ることができることを願いオープンした。ここで特筆すべきサービスが、超高齢社会による労働力の減少や支給温暖化の影響であらゆる弊害が懸念される2050年問題に備えた介護人材の育成と介護人材確保のためのマッチング支援などが挙げられる。他の自治体同様に超高齢社会に直面している本市において、国、道との連携を図る中で介護人材の育成と処遇改善は喫緊の課題である。



【講義内容】

① 富山県総合福祉会館(サンシップとやま)とは

- ・ 参加型福祉活動推進の拠点施設 → ボランティアセンター、県民福祉ホール、交流サロンの設置
- ・ 福祉人材養成の拠点施設 → 健康・福祉人材センター、介護実習普及センターの設置
- ・ 福祉情報受発信の拠点施設 → 総合相談センター、福祉機器モデルルームの設置

② 運営管理

- ・ 富山県が富山県社会福祉協議会に業務委託を行っている。

③ 富山県における介護人材確保の現状

- ・ 富山県における介護関連職種の有効求人倍率は4.23倍(他職種は1.58倍)
- ・ 令和元年策定の第8期介護保険事業支援計画では、2025年までに、介護要員2,000人の増が必要

④ 介護人材を確保するための富山県健康・福祉人材センターの取り組み

- ・ ハローワークと連携した無料職業紹介事業の実施
- ・ 職業訓練受講者への求職登録の働きかけ
- ・ 広報媒体を活用した啓発・案内
- ・ 離職介護人材届出制度の活用推進
- ・ 福祉職場説明会(福祉のお仕事フェア in TOYAMA(年4回))
- ・ 介護職員募集案内冊子作成・配布事業
- ・ 新任介護職員ネットワーク形成支援事業

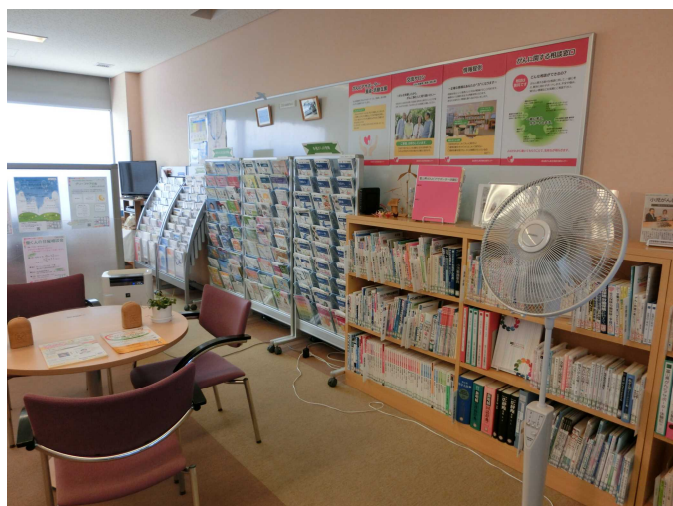
- ・介護福祉等修学資金貸付事業(160万円/人)→指定の福祉施設で5年勤務すれば全額返済免除
- ・高校生等の福祉の魅力体験バス教室
- ・親子夏休み福祉の仕事バス教室
- ・中学・高校への介護の出前講座
- ・頑張る介護職員の表彰
- ・イメージアップ・テレビCMの作成
- ・介護職員によるラジオ番組への出演
- ・保育士・保育所支援センターを開設し、保育関連のマッチングも行っている。

⑤ 富山県福祉カレッジ

- ・年間50種類以上の福祉関連の研修を実施
- ・コロナが蔓延してからは、リモートで授業を行うことが可能になったため、コロナ前よりも多くの人が気軽に参加できるようになった。
- ・研修費用は、受講者が所属する職場が負担するケースが多い。



担当者による説明



がん相談支援センター



介護関連の図書に特化した図書館



介護用具展示モデルルーム

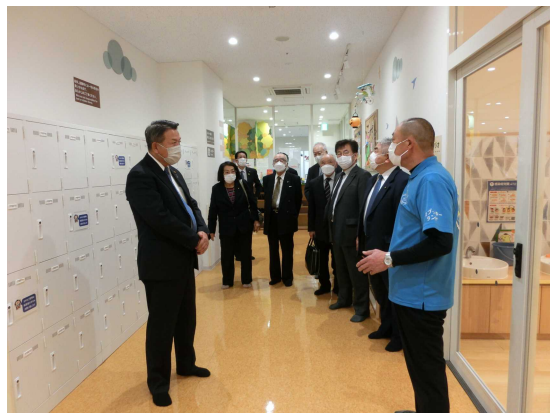
○10月27日(木)カブッキーランド&こまつ・ファミリー・サポートセンター 14時～16時

【受入対応者】

- ・小松市議会議長 吉本 慎太郎氏
- ・株式会社こまつ賑わいセンター 代表取締役社長 岡山 敏弘氏

新幹線開業を2024年に新幹線開業を控えた小松駅前に平成29年12月にオープンした子育て支援の複合施設である。

昭和45年に西友ストアが開業し、その後、郊外にできた大型商業施設の影響により西友から業態転換した小松西武、大和小松店の閉店が続き、駅前中心街は本市同様に閑散とした状況に置かれていた。そこで、中心街活性化に向けて、小松市、小松商工会議所、市内金融機関、市内企業などの出資により設立された(株)こまつ賑わいセンターが設立され、地上8階のホテル、大学キャンパス、商業施設、行政施設からなるこまつアズスクエアが平成29年にオープンすることになった。



この複合施設の一部にカブッキーランドがあり、多くの親子が集まり、当初の見込みにあった郊外から駅前に人を呼び込み、活気を取り戻すという計画が成功した事例だと思う。

同施設が子育て世代の親子に喜ばれているのが、(株)ボーネルンドのプロデュースにより大型遊具を設置し、子供が遊びながら学べる「すくすくひろば」、保育士・看護師・栄養士などに子育て相談ができる「子育てスマイルステーション」、

親子で料理を通して食育について学べる「クッキングスタジオ」、サークル活動ができる「カルチャールーム」の4つのカテゴリを設けているところだろう。

雪深い本市において、このような施設は、多くの市民からも期待されていることから大いに参考となる施設だった。

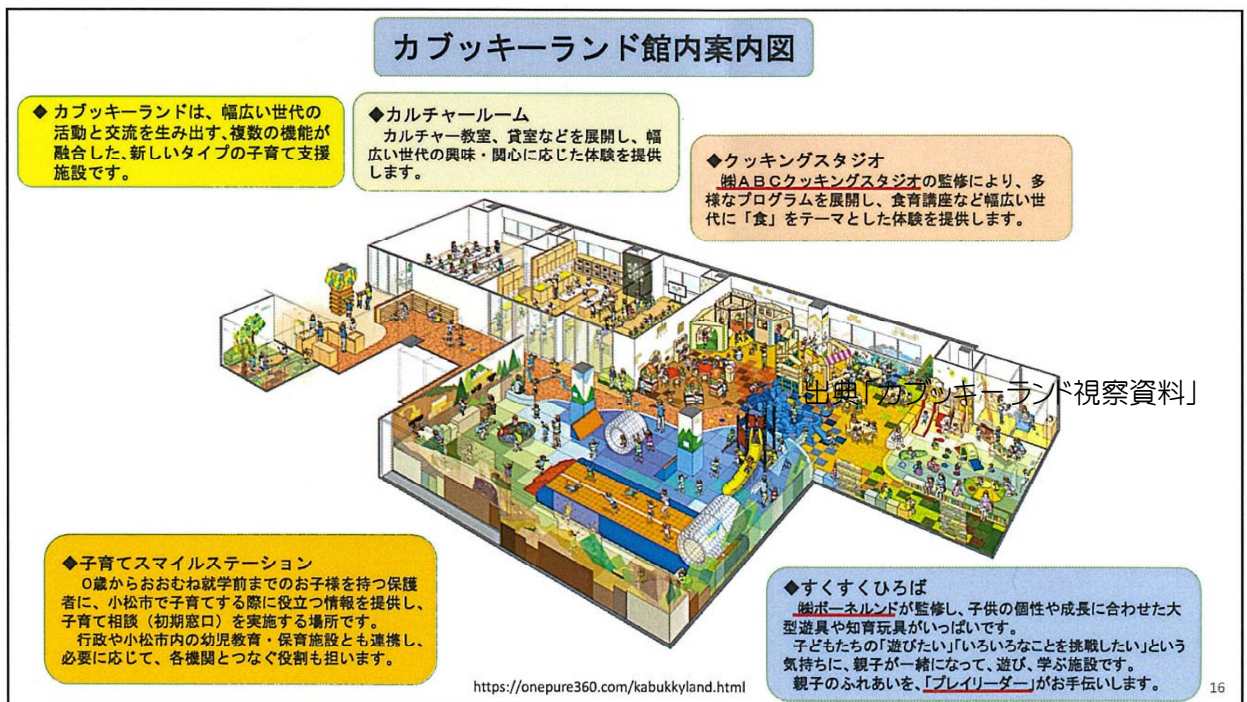


小松市議会吉村議長、小松市公式キャラクター「カブッキー」との記念撮影

【講義内容】

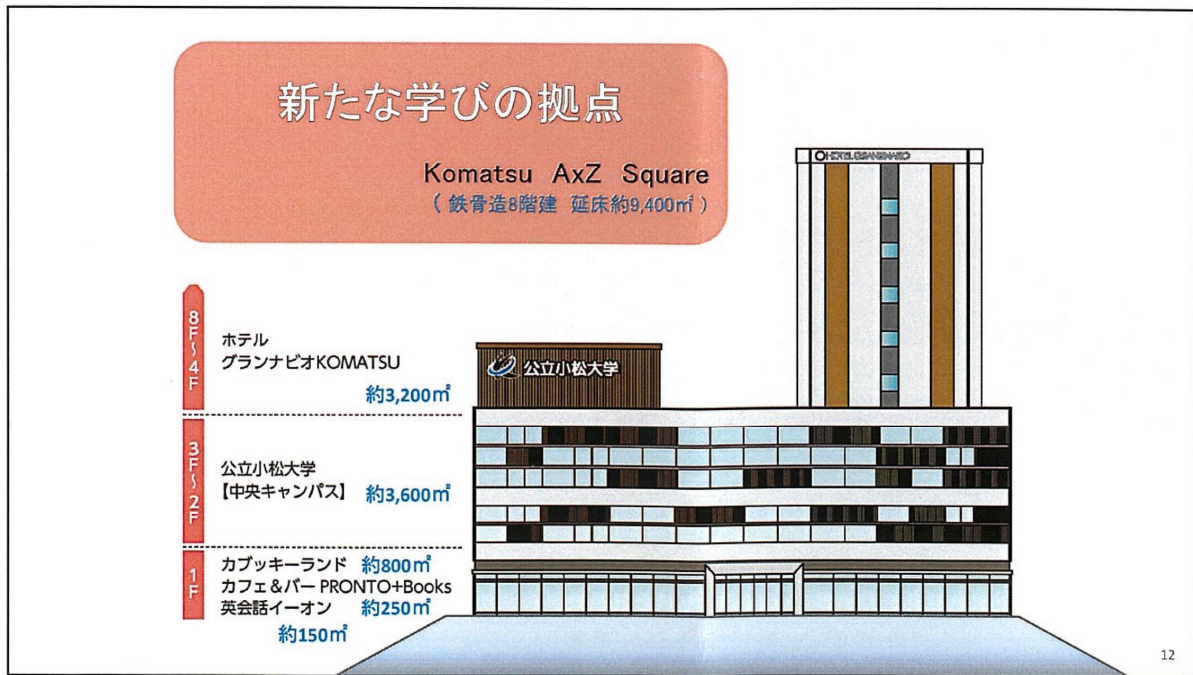
① カブッキーランドとは？

- ・デンマークなど海外の遊具の販売や遊び場の展開を行っている遊具メーカー「ボーネルンド」のプロデュースで小松市の第3セクター「(株)こまつ賑わいセンター」が運営する子どもの室内遊技場。
- ・遊具場のほかにも ABC クッキングスタジオが運営するクッキングスタジオ、サークル活動などが行えるカルチャールーム、平日、週末関係なく栄養士、保健師、保育士に育児相談できるコーナーを備えている。
- ・平成29年12月にオープンし、1年間で来場者が10万人を超える人気施設。
- ・石川県内はもちろん、福井市内からの来客も多い(カブッキーランドの近くに大型商業施設のイオンがある。福井市内にはイオンがないため、買い物のついでに子どもと来場する家族が多い)
- ・入場料は市内在住者は90分利用で子ども 300 円、大人 200 円
市外在住者は90分利用で子ども400円、大人 300 円
市内外共通年間パスポートもあり、子ども 2,400 円、大人 1,600 円
そのほか、団体料金の設定や6か月から1歳までは無料で利用できる制度がある。



② カブッキーランド設立の背景

- ・平成22年 駅前にあったデパートが閉鎖し、駅前の治安にも影響が懸念された。平成24年度に新幹線延伸を控えており、駅前の活性化が重要案件となった。
- ・平成25年 小松市がデパート跡地を4億2千万円で買収。
子育て支援、ホテル、商業施設として利用できる事業者を募集。(青山財産ネットワークスと清水建設が合同会社を設立)
- ・平成29年12月 カブッキーランド、公立小松大学、ホテルが入る「Komatsu A×Z Squre」オープン。



出典「カブッキーランド視察資料」

※(株)こまつ賑わいセンターは、ホテルを除いた部分を管理。

※公立小松大学の学生数は約 1,000 名。市内3つのキャンパスに分かれて授業を受けている。

④ こまつ・ファミリー・サポート・センターについて

- ・育児の援助を受けたい人(依頼会員)と育児を応援したい人(協力会員)がお互いに助けたり、助けられたりして、育児の相互援助を行い、子育てしやすい環境を地域で支援することを目的とした登録制の会員組織。

【会員の種類】

- ・依頼会員…生後2か月～小学校6年生までの子どもがいる人
- ・協力会員…心身ともに健康で、積極的に援助活動ができる人
- ・両方会員…依頼会員と協力会員の両方を兼ねる人

【援助の内容】

- ・保育施設開始前・終了後に子どもを預かること
- ・保育施設までの送迎を行うこと
- ・学校の放課後または学童クラブ終了後、子どもを預かること
- ・病児・病後児を一時的に預かる、または診察に付き添うこと
- ・保護者の外出の際、子どもを預かること
- ・冠婚葬祭や学校行事の際の子どもの預かり

【報酬】

- ・月曜日から金曜日 7時から19時 600円/1時間
- ・上記以外の早朝・夜間・土日祝日・年末年始 700円/1時間
- ・緊急時対応(平日 火から金のみ対応) 800円/1時間
- ・ひとり親家庭が利用する場合は、半額を補助する
- ・このほか、送迎がある場合は、交通費が発生する

子どもがぶつかってもケガをしないように全ての角がスポンジ素材で覆われている。



室内はすべて厚さ9mmのフロアマットが敷かれており、子どもが転んでもケガをしにくい工夫がされている。



すぐくひろば		ご利用料金		営業時間	クッキングスタジオ abc kids
最初の90分	延長30分ごと	子ども	おとな	10:00~17:00 (16:30受付終了)	営業時間
速習利用	団体利用	100円	200円	対象年齢	6ヶ月~小学6年生
300円	200円	300円	2400円	ご利用料金	1回90分
400円	300円	300円	1600円	600円	

料金価格表



子ども用のトイレ



ABC クッキングスタジオ

絵が動く仕掛けがあり、授乳中も子どもが飽きない工夫が散りばめられている。



授乳室

